

平成 30 年 12 月 27 日

2018 年度第 4 四半期(2019 年 1-3 月期)鋼材需要見通しを取りまとめました

2018 年度第 4 四半期(2019 年 1-3 月期)の鋼材需要量は、前年同期比▲1.1%の微減、前期比+0.0%の横ばいの 2,359 万トンとなる見通しです。その内訳は以下のとおりです。

・国内需要

(建設部門)首都圏再開発、五輪関係物件や工場等の民間設備投資の増加に伴う非住宅向け需要の堅調な推移が見込まれるものの、貸家需要の低迷等が見込まれ、前年同期比で横ばい。季節的要因により、前期比では減少。

(製造部門)自動車、建設機械、産業機械需要等の堅調な推移が見込まれることにより、前年同期比で横ばい。決算期という季節的な要因により、前期比でも横ばい

・輸出:前年同期比では、国内需要の増大等に伴う生産能力制約の問題から減少。前期比では微増。今期の粗鋼需要量は、2,631 万トン。前年同期比▲0.4%。前期比+1.7%。

○2018年度第4四半期(2019年1-3月期) 鋼材需要見通し

	鋼材計		
		普通鋼鋼材	特殊鋼鋼材
鋼材需要	2,359 万トン	1,838 万トン	521 万トン
前年同期比	(2,385) ▲1.1%	(1,860) ▲1.2%	(526) ▲0.9%
前期実績見込比	(2,358) +0.0%	(1,848) ▲0.5%	(510) +2.1%
① 国内需要	1,615 万トン	1,253 万トン	362 万トン
前年同期比	(1,617) ▲0.1%	(1,252) +0.0%	(365) ▲0.8%
前期実績見込比	(1,623) ▲0.5%	(1,268) ▲1.2%	(355) +1.8%
② 輸出	744 万トン	585 万トン	159 万トン
前年同期比	(768) ▲3.2%	(608) ▲3.7%	(161) ▲1.2%
前期実績見込比	(735) +1.2%	(580) +0.9%	(155) +2.6%

(参考)

○出荷等相当粗鋼需要量 **2,631 万トン**
 前年同期比 (2,641) ▲0.4%
 前期実績見込比 (2,587) +1.7%

○普通鋼鋼材 メーカー・問屋在庫

前期末(12月末見込み) 687 万トン 在庫率 1.14ヶ月
 うち国内向け(12月末見込み) 571 万トン 在庫率 1.39ヶ月

注) 括弧内は対比する前年同期、前期実績見込みの数量(単位:万トン)

注) 千トン単位で計算しているため、合算値が一致しないことがある。

(本発表資料のお問い合わせ先)
 製造産業局金属課長 黒田
 担当者:篠原、丹、中村
 電話:03-3501-1511(内線 3661~6)
 03-3501-1926(直通)

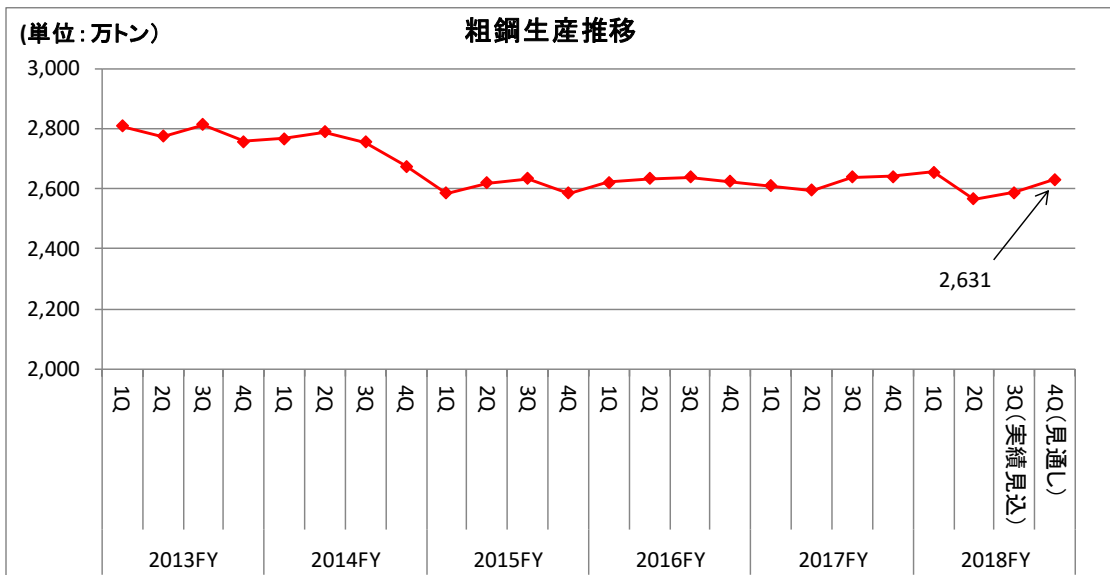
需要見通し参考資料（2018年度第4四半期（2019年1-3月期））

1. 粗鋼生産の推移

（単位：千トン）

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
1 Q	28,081	27,672	25,858	26,209	26,094	26,565
2 Q	27,737	27,891	26,197	26,334	25,942	25,654
3 Q	28,139	27,537	26,335	26,393	26,395	25,865
4 Q	27,567	26,745	25,839	26,230	26,406	26,310
合計	111,524	109,844	104,229	105,166	104,837	104,394

注1) 2018年度第3四半期は実績見込み、2018年度第4四半期は見通し。



2. 普通鋼鋼材 部門別国内消費量

（単位：千トン）

部 門	2017年度4Q 実績	2018年度3Q 実績見込み	2018年度4Q 見通し	前年同期比	前期比
・建設	5,338	5,503	5,311	▲ 0.5%	▲ 3.5%
土木	1,813	1,782	1,853	2.2%	4.0%
建築	3,525	3,721	3,458	▲ 1.9%	▲ 7.1%
・製造業	7,186	7,177	7,219	0.5%	0.6%
造船	993	993	992	▲ 0.1%	▲ 0.1%
自動車	2,948	2,930	2,971	0.8%	1.4%
産業機械	1,291	1,325	1,333	3.3%	0.6%
電気機械	807	776	808	0.1%	4.1%
二次製品	560	571	561	0.2%	▲ 1.8%
容器	273	296	265	▲ 2.9%	▲ 10.5%
その他	314	286	289	▲ 8.0%	1.0%
合 計	12,524	12,680	12,530	0.0%	▲ 1.2%

注2) 数量は需要関連統計等を基に推計。